

Newspaper In Education



むろみん

NIE サンデーキッズ



昨年のSTPの様子。学生たちが小、中学生に英語の楽しさを伝えた

小5～中3

英語に興味を

上智大学外国語学部英語学科の学生有志が小、中学生に英語の楽しさを伝える教室「サマデー・チャンクプログラム(S・TP)」が、8月3～10日(7日は除く)、室蘭市高砂町の海星学院高校を会場に開かれます。学年に合ったレベルの文法や単語を基に、英語のゲームや歌、英会話など楽しい授業を繰り返し広げます。学生たちは「英語に興味を持つきっかけになれば。一緒に夏休みの楽しい思い出をつくりましょう」とみんなの参加を呼び掛けています。

(成田真梨子)

8月、上智大生が室蘭で教室

「誰でも楽しめるよ」



「子どもたちに英語に興味を持ってほしい」とSTPに意欲をみせる飯島チーフ(中央)と西澤(左)、大津(右)両サブチーフ

STPの活動は室蘭市はじめ岩手県盛岡市、栃木県足利市、福岡県福岡市、山口県下関市、岡山県小野田市の国内6地域と、カンボジア王国シムルムアップの海外1地域で、毎年同じ時期に開催されています。室蘭は今年で44年目です。

今年3年生の飯島春香チーフ、2年生の西澤杏、大津奏太両サブチーフらが来蘭し、ゲームやスポーツを通じた英語レッスン、クッキングや工作など楽しい企画を繰り返します。飯島チーフは「英語の経験や好き嫌い、得意、不得意に関係なく誰でも楽しめる内容になっています」と気軽な参加を呼び掛けています。

学生たちが考えたオリジナルのテキストはカラフルでユニーク。授業はコミュニケーションを重点に置き、飽きさせない内容です。学生たちの明るさとフリの良さでみんなすぐに打ち解け、ほかの学校から来る子どもたちとも仲良くなれます。

西澤リブチーフは「英語の重要性が高まっています。英語を身近に感じ、自発的に楽しさを見つけられるようになってほしい」、大津サブチーフは「母国語以外の言語に興味を持ち、学ぶ楽しさを体験してほしいです」と話しています。

参加費は保険代込みで2千円です。実施時間は各日午前9時～午後3時半まで(正午～午後1時は昼食)。対象は小学5年生から中学3年生までで、応募者多数の場合は抽選です。申し込みは各小、中学校が窓口となっていますが、メール(stpmuroran2015@yahoo.co.jp)でも可能です。締め切りは7月1日です。